

「なごや東山の森づくりの会」
新里山の家開館お祝いならびに定例会報告 2010-10-03(広報班・水谷)

日 時 2010年10月3日(日) 9:30~14:00 天候: 晴れのち曇り
活動場所 お祝い会 新里山の家 定例活動 里のみち両側竹林(スモモ池南)
参加者 お祝い会 69名 定例活動 48名(会員40名、一般1名、子供7名)

《新里山を祝う会》

新しい里山の家は、既に9月24日からオープンされていますが当会としては多くの会員が参加できるようにこの日を選んで開館をお祝いすることとなりました。

木の香漂い紅白の幕がいやがうえにもお祝いムードを盛り上がる中、滝川代表の挨拶に続き、総合公園事務所の高岡さん他関係深い皆さんから御祝詞をいただきました。引き続きパワ・ポイントでくらしの森の里山工事が完成するまでを紹介、そこで活動する各班の紹介が行われ班長さんの説明にも大いに熱が入りました。記念のお土産は炭焼き班の汗の結晶である炭パックでした。



《定例活動》

お祝い会を終えて直ちにスモモ池南のスズコナリヒラダケの竹林へ。子供7名を含む48名が参加、竹林として残すゾーンは白いテープで区分してありその外の竹を皆伐するのが今日の作業です。

ここでの作業は今年度に入ってから6月、8月に続き3度目。1か所を集中しての手入れは珍しく、中道・里のみちそれぞれからのビューを良くしようと言うかねてからの鬼頭リーダーの思い(?)の賜物です。

長かった猛暑も終わりやっと秋らしくなり、古いも若きもちびっ子も、元気いっぱい、切るわ切るわ、とうとう最後には枝払い班が追いつかない状況に。本当は“切った人が枝も払ってひと仕事”という竹伐りルール(?)もお祝いに免じてセーフ!

メタセコイア広場で開かれている区民祭りにも参加できるようにと作業は13時30分で切り上げるといふ粋な計らい、みんなで道具の手入れをして14時頃解散となりました。



カラスウリ、とらないでね



例年より10日遅いヒガンバナ開花



ムカゴだ! 旨いんだぞ